



2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社ファイバークート 上場取引所 東 札
 コード番号 9450 URL https://www.fibergate.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 猪又 将哲
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営企画本部長 (氏名) 濱渦 隆文 TEL 011(204)6121
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日—
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有（四半期決算補足説明資料は、適宜、当社ホームページに掲載いたします。）
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	8,228	14.3	1,737	39.1	1,719	39.9	1,176	42.2
2022年6月期第3四半期	7,200	12.5	1,249	△2.8	1,228	△3.2	826	0.1

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 1,177百万円 (42.4%) 2022年6月期第3四半期 827百万円 (0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	57.65	57.57
2022年6月期第3四半期	40.50	40.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	13,939	4,422	31.3
2022年6月期	13,087	3,279	25.1

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 4,366百万円 2022年6月期 3,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	4.50	4.50
2023年6月期	—	0.00	—		
2023年6月期（予想）				9.00	9.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注2) 2023年6月期期末配当金9.00円の内訳は普通配当7.00円、創業20周年記念配当2.00円であります。

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,900	21.4	2,020	22.2	1,960	22.2	1,300	21.1	63.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

詳細は、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー 除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期3Q	20,591,200株	2022年6月期	20,591,200株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	196,644株	2022年6月期	191,744株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期3Q	20,399,329株	2022年6月期3Q	20,414,901株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
2023年6月期 第3四半期	8,228	1,737	1,719	1,176	57.65
2022年6月期 第3四半期	7,200	1,249	1,228	826	40.50
前年同期比	1,027	488	490	349	17.15
前年同期間増減率(%)	14.3	39.1	39.9	42.2	42.3

当第3四半期連結累計期間(2022年7月1日～2023年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症は5類感染症への移行が決定し、人の移動も活発化してきております。そのため経済活動の正常化や個人消費等についても徐々に回復傾向にあります。しかしながら、政府の消費動向調査では足元の物価高が懸念されるなど引き続き先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、2023年3月17日に中期経営計画を発表いたしました。当該中期経営計画では2027年6月期までの中期ビジョンを実現するため、Step1「すべての施設にWi-Fiを」、Step2「通信・再エネが作る未来インフラの実現」の2つのステップを軸に中期経営目標の達成に取り組んでまいります。

当第3四半期において、ホームユース事業は導入戸数が50万戸を突破し、パートナー企業様も250社を超えました。営業活動から業績貢献までのリードタイムが長い新築案件も順調に業績に寄与しており、かつ、従来から主力であった既築物件についても順調に導入戸数が増加しております。

また、新築物件が業績に寄与したことや利益率の高い案件の受注が増加しているため、当第3四半期会計期間においては過去最高のセグメント売上高及びセグメント利益を達成致しました。

以上の結果、ホームユース事業は売上高7,134百万円(前年同期比18.1%増)、セグメント利益2,286百万円(前年同期比33.0%増)となりました。

ビジネスユース事業におきましては、新型コロナウイルス感染症による影響も沈静化しつつあり、商業施設向けのWi-Fi、タクシーなどの交通機関向けWi-Fi、ホテルなどの観光施設やイベント等の屋外向けのWi-Fiサービス等が回復基調にあり、売上高や利益率は徐々にコロナ禍前の水準に戻りつつあります。

子会社である株式会社FG-Labでは得意先ごとのオーダーメイド開発となる機器の開発、販売を行っております。

以上の結果、ビジネスユース事業は売上高1,062百万円(前年同期比13.5%増)、セグメント利益206百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

不動産事業におきましては、株式会社FGスマートアセットが保有する新世代SDGsエコロジーマンションであるReunir Gracias川口の賃貸収入等があるものの、当第3四半期累計期間では不動産の販売はありませんでした。Reunir Gracias川口の不動産賃貸収入は安定的に推移しており、また不動産の販売については第4四半期会計期間にて計上を見込んでおります。

以上の結果、不動産事業は売上高23百万円(前年同期比89.4%減)、セグメント損失9百万円(前年同期はセグメント利益29百万円)となりました。

その他の事業におきましては、当期より株式会社オフグリッドラボにて再生可能エネルギー(電力)事業において太陽光パネルの販売を開始し、当第3四半期連結累計期間では1件販売致しました。

以上の結果、その他事業は売上高8百万円(前年同期は売上なし)、セグメント利益2百万円(前年同期はセグメント損失6百万円)となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高8,228百万円(前年同期比14.3%増)、営業利益1,737百万円(前年同期比39.1%増)、経常利益1,719百万円(前年同期比39.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,176百万円(前年同期比42.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第3四半期連結会計期間末	増減(%)
総資産 (百万円)	13,087	13,939	6.5
純資産 (百万円)	3,279	4,422	34.9
自己資本比率 (%)	25.1	31.3	24.7
1株当たり純資産額 (円)	160.74	214.09	33.2
借入金の残高 (百万円)	6,500	6,182	△4.9
社債の残高 (百万円)	150	50	△66.7

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ852百万円増加し13,939百万円となりました。これは、流動資産が333百万円増加し、固定資産が519百万円増加したこと等によるものであります。

流動資産の増加は、現金及び預金が351百万円減少したものの、売掛金及び契約資産が276百万円、商品が115百万円、販売用不動産が189百万円増加したことによるものであります。固定資産の増加は、土地建物売却に伴い建物が147百万円、土地が106百万円減少したものの、当社通信サービス提供用の通信設備が872百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ291百万円減少し9,516百万円となりました。これは、買掛金が225百万円、短期借入金が456百万円、未払法人税等が171百万円増加したものの、契約負債が228百万円、長期借入金(1年内返済予定含む)が774百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,143百万円増加し4,422百万円となりました。これは利益剰余金が1,083百万円、非支配株主持分が43百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想につきましては、2022年8月13日に発表しました「2022年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後の見通しにつきましては、引き続き検討を行い、連結業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示するものであります。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(連結業績予想)

(単位：百万円)

	2022年6月期(実績)	2023年6月期(予想)	対前期増減率
売上高	10,624	12,900	21.4%
営業利益	1,652	2,020	22.2%
経常利益	1,604	1,960	22.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,073	1,300	21.2%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,303	1,952
売掛金及び契約資産	1,572	1,849
商品	654	770
販売用不動産	1,426	1,616
貯蔵品	0	1
前渡金	0	5
前払費用	61	76
その他	15	97
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	6,028	6,362
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	384	236
工具、器具及び備品(純額)	35	30
通信設備(純額)	5,549	6,421
リース資産(純額)	2	—
構築物(純額)	22	12
土地	209	102
建設仮勘定	0	2
有形固定資産合計	6,204	6,806
無形固定資産		
のれん	102	86
ソフトウェア	89	89
ソフトウェア仮勘定	20	20
水道施設利用権	2	1
無形固定資産合計	214	197
投資その他の資産		
投資有価証券	51	51
敷金	34	35
繰延税金資産	550	485
破産更生債権等	0	0
その他	2	1
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	637	572
固定資産合計	7,057	7,576
繰延資産		
創立費	1	0
社債発行費	0	—
繰延資産合計	1	0
資産合計	13,087	13,939

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	478	704
短期借入金	718	1,175
1年内償還予定の社債	50	—
1年内返済予定の長期借入金	1,832	1,029
リース債務	2	—
未払金	192	180
未払費用	24	21
未払法人税等	181	352
契約負債	1,958	1,730
賞与引当金	80	44
株主優待引当金	32	—
株式報酬引当金	—	21
その他	93	110
流動負債合計	5,645	5,368
固定負債		
社債	100	50
長期借入金	3,950	3,977
繰延税金負債	75	75
退職給付に係る負債	36	44
その他	0	—
固定負債合計	4,162	4,147
負債合計	9,808	9,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	494	494
資本剰余金	411	419
利益剰余金	2,572	3,656
自己株式	△200	△205
株主資本合計	3,277	4,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	1	1
その他の包括利益累計額合計	1	1
株式引受権	—	13
非支配株主持分	—	43
純資産合計	3,279	4,422
負債純資産合計	13,087	13,939

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	7,200	8,228
売上原価	3,604	4,001
売上総利益	3,596	4,227
販売費及び一般管理費	2,346	2,489
営業利益	1,249	1,737
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
保険解約返戻金	—	2
ポイント収入額	1	3
その他	0	0
営業外収益合計	1	7
営業外費用		
支払利息	16	22
為替差損	5	3
その他	1	0
営業外費用合計	22	25
経常利益	1,228	1,719
特別利益		
固定資産売却益	—	24
投資有価証券売却益	0	0
特別利益合計	0	24
特別損失		
固定資産除却損	14	26
減損損失	0	—
特別損失合計	14	26
税金等調整前四半期純利益	1,215	1,717
法人税、住民税及び事業税	269	475
法人税等調整額	118	64
法人税等合計	388	540
四半期純利益	826	1,177
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	826	1,176

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	826	1,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
四半期包括利益	827	1,177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	827	1,175
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,040	936	224	7,200	—	7,200	—	7,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,040	936	224	7,200	—	7,200	—	7,200
セグメント利益又は損 失(△)	1,719	188	29	1,938	△6	1,932	△683	1,249

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー(電力)事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△683百万円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計	その他	全社・消去	連結財務諸表計上額
減損損失	—	0	—	0	—	—	0

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,134	1,062	23	8,220	8	8,228	—	8,228
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,134	1,062	23	8,220	8	8,228	—	8,228
セグメント利益又は損 失(△)	2,286	206	△9	2,483	2	2,485	△748	1,737

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー(電力)事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△748百万円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメント情報の変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「不動産事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しており、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては変更後の区分により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。